No.3
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
令和3年度第3回

一般国道9号

笠波峠除雪拡幅

（かさなみとうげ）

【再評価】

令 和 3 年 9 月
近 畿 地 方 整 備 局

新型コロナウイルス対策に伴う工事等の一時中止によるコスト、工期への影響は考慮していない

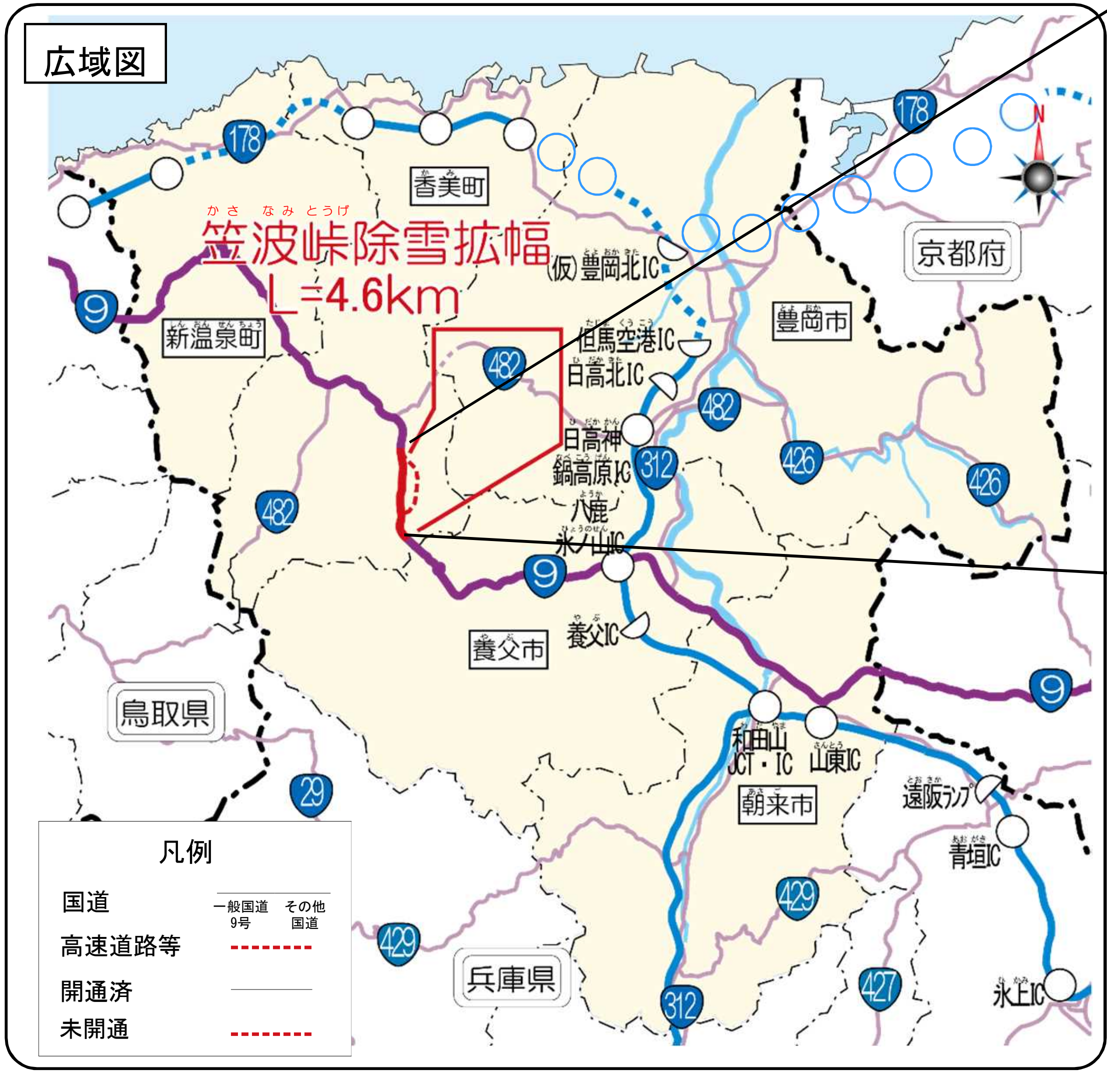
目　次

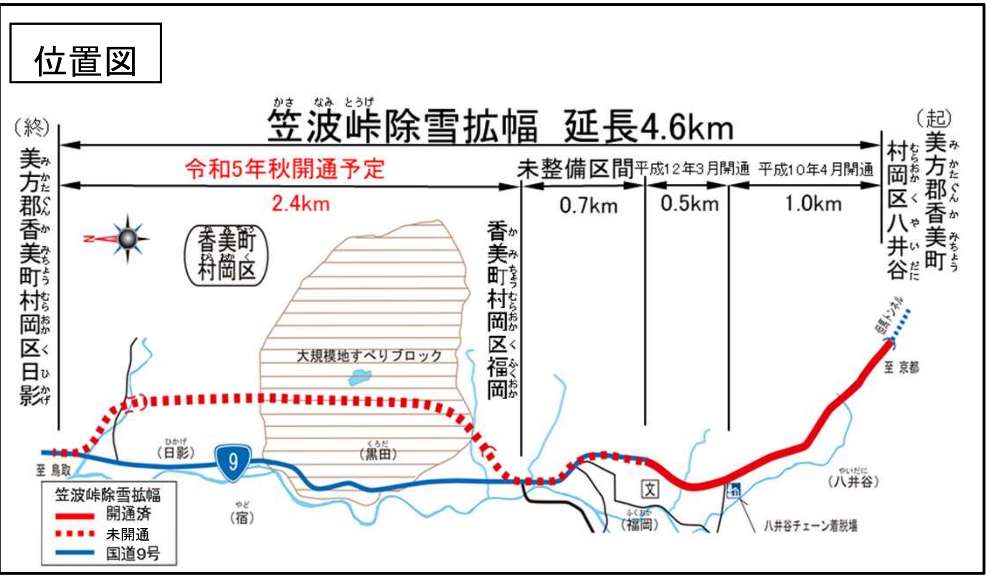
1.事業全体図
2.事業の概要
3.事業費の見直し
4.事業の必要性等に関する視点
　1）防災面の課題
　2）事業の整備効果
　3）事業の投資効果
5.事業の進捗の見込みの視点
6.コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点
7.関係自治体の意見
8.対応方針（原案）

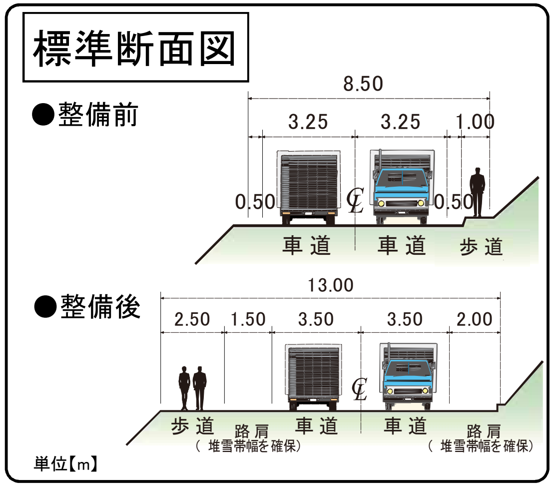
1.事業全体図

一般国道9号は、京都府京都市を起点とし、山陰地方の主要都市を経由し、山口県下関市に至る延長約780kmの主要幹線道路です。

笠波峠除雪拡幅は、兵庫県の最高峰氷ノ山(1,510m)に続くハチ北高原の麓に位置する積雪が多い一般国道9号の笠波峠付近において、除雪した雪を積んでおく堆雪帯を設けることで、冬期の安全で円滑な交通を確保するとともに、トンネルにより地すべり区間の回避を目的とした、延長4.6kmの事業です。







写真：スタック車両により片側交互通行規制を実施(H29.1.14撮影)

2.事業の概要

事業の目的

■冬期の安全で円滑な交通の確保

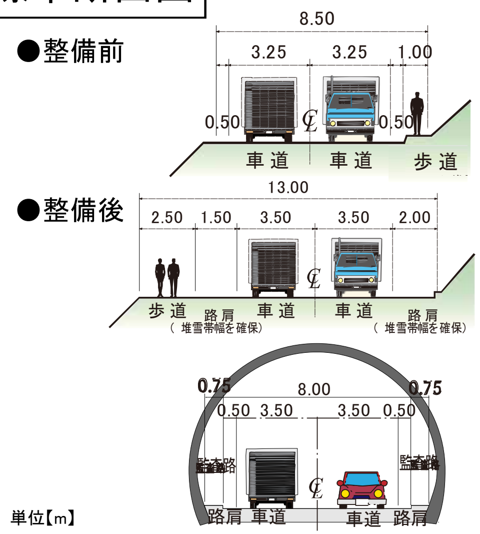
■地すべり区間の回避

事業の概要、進捗状況

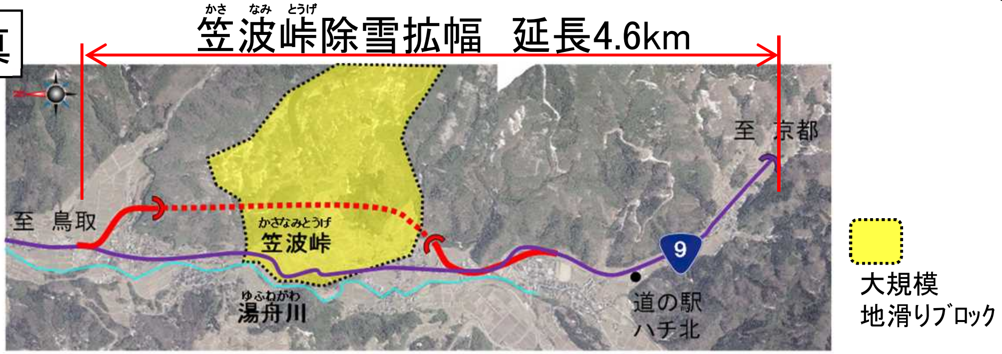
区　間	(起)兵庫県美方郡香美町村岡区八井谷 (終)兵庫県美方郡香美町村岡区日影
道路延長	4.6km
構造規格	第3種第2級
設計速度	60km／h
車 線 数	2車線
標準幅員	13.0m
計画交通量	8,100台／日
全体事業費	227億円
事 業 化	昭和62年度
用地着手	昭和63年度
工事着手	平成5年度
開通延長	1.5km
事業進捗率	約68%(令和3年3月末時点) 約56%(再評価後の事業費に対する進捗率)
用地取得率	約97%(面積ベース、同上)

広域図

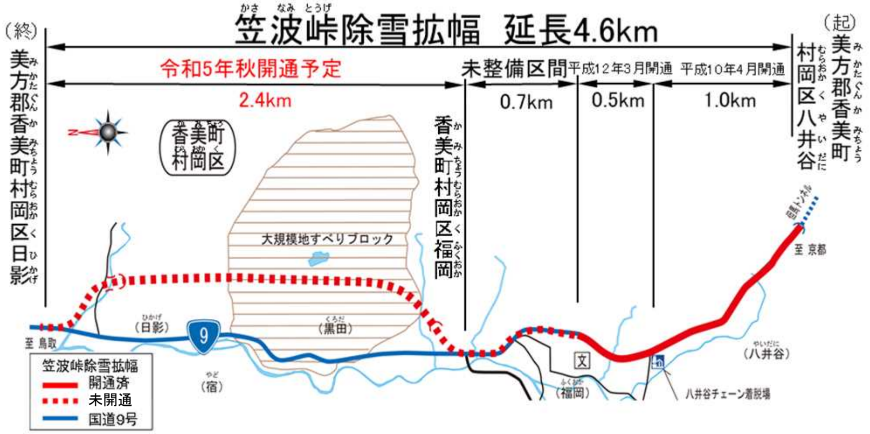
標準断面図



航空写真



位置図



3.事業費の見直し　一般国道9号　笠波峠除雪拡幅

■全体事業費の見直し

トンネル支保パターンの変更及び補助工法の追加等が生じたことにより、約40.2億円の事業費の増が生じたため、約0.2億円のコスト縮減を図ったものの、事業費全体で約40億円の増額が発生
（187億円 ⇒ 227億円）

■事業費の増加要因

○トンネル支保パターンの変更及び補助工法の追加による増（①）
○建設発生土　処分方法の変更による増（②）

■コスト縮減の取組

○地元調整による施工中迂回路の規模縮小による減額（③）

▼事業費増加の内訳

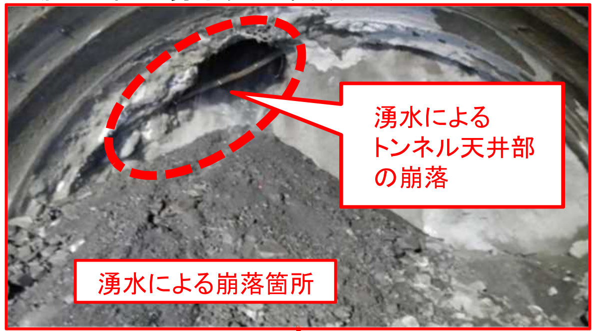
単位：億円

No.	主な増額理由	金額
①	トンネル支保パターンの変更及び補助工法の追加による増	35.5
②	建設発生土　処分方法の変更による増	4.7
③	地元調整による施工中迂回路の規模縮小による減額	－0.2
	合計	40.0

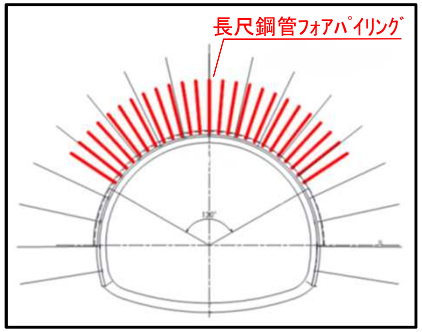
1)トンネル支保パターンの変更及び補助工法の追加による増(＋35.5億円)

■当初は、既往文献により、中硬岩を想定し、トンネル支保パターンを計画した。
■詳細設計時(H30)における地質調査の結果、軟岩が混在していることが判明し、さらに地山の亀裂や施工中の突発的な湧水により、支保パターンの変更、補助工法の追加が生じた。

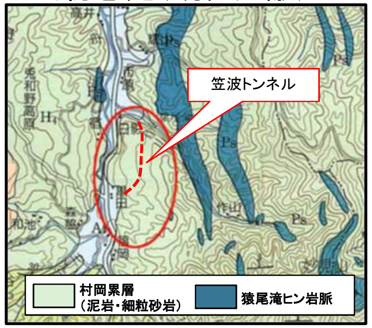
■施工中の湧水発生箇所



■補助工法



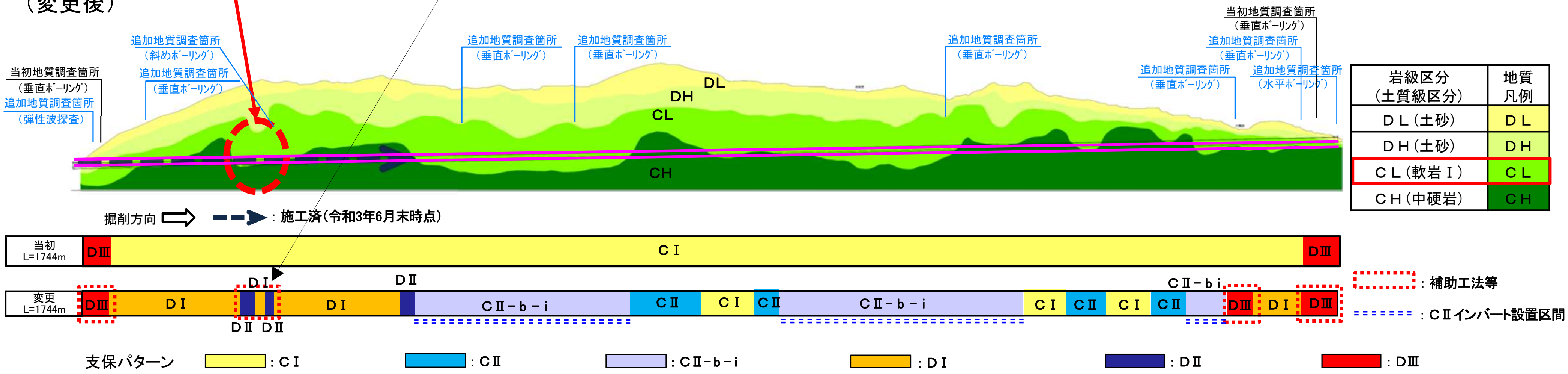
■当初想定(既往文献)



兵庫の地質(1996):兵庫県土木部より抜粋

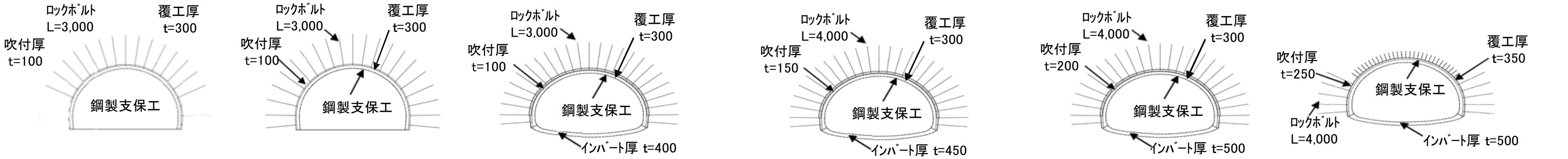
当該地区の村岡累層(泥岩・細粒砂岩)は、地山等級が中硬質岩相当と考えられるため「道路トンネル技術基準(構造編)・同解説」の地山分類表から当初のトンネル支保パターンを計画した。

■地質縦断図
(変更後)



岩級区分(土質級区分)	地質凡例
DL(土砂)	DL
DH(土砂)	DH
CL(軟岩Ⅰ)	CL
CH(中硬岩)	CH

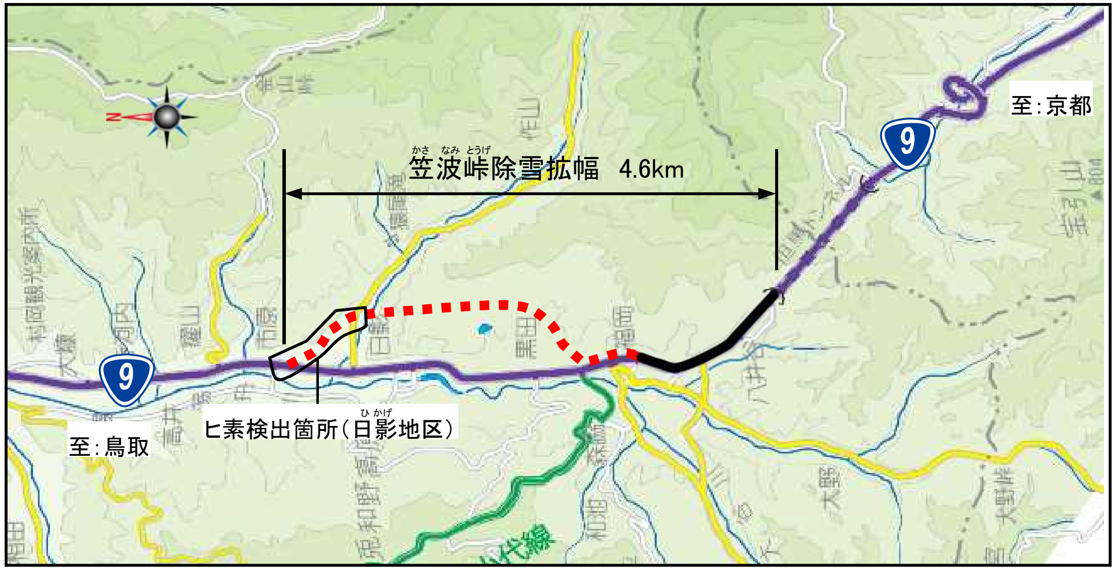
■支保パターン図



2)建設発生土　処分方法の変更による増(＋4.7億円)

■当初は、近隣の公共事業を建設発生土受入地に想定。
■平成30年度の工事着手時に、建設発生土の一部にヒ素が検出された。
■当初想定していた公共事業受入地については、ヒ素が検出されたことから受入れが不可となり、有料処分に計画を変更した。

■ 位置図



当初	残土の受入れ予定地は 近隣の公共事業地への受け入れを計画

↓

［平成30年度の工事着手時にヒ素が検出された］

↓

平成30年度 工事着手時	ヒ素が検出され、近隣の公共事業地への受け入れが不可となったため、有料処分に計画変更

■ヒ素処分の追加

試料採取状況
（ボーリング）

搬出状況
（シート養生）

3.【参考】事業費の見直しの経緯

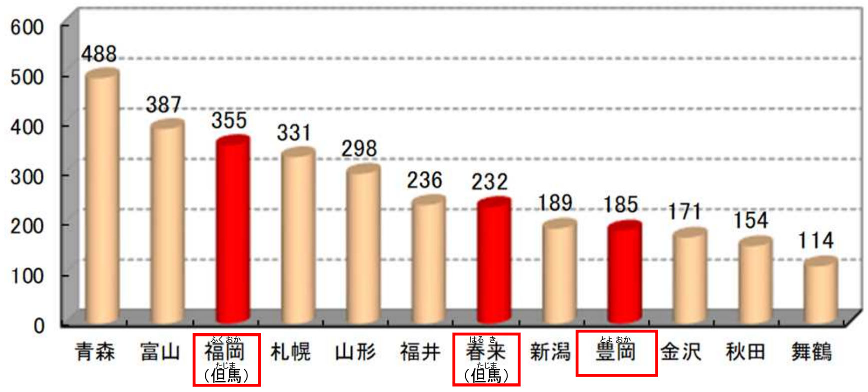
年度	①トンネル支保パターンの変更及び補助工法の追加による増	②建設発生土処分方法の変更による増
当初想定	概略の設計のため、地形・地質等の諸条件を既往文献に基づき、中硬岩と想定し、トンネル支保パターンを計画していた。	近隣の公共事業を建設発生土受入地として、建設発生土処分を計画していた。
H28	事業再評価（全体事業費　187億円）	
H29	トンネル詳細設計完了 発破振動が地すべりブロックに与える影響を考慮するため、工事中の発破振動を調査し結果を反映した設計が必要と判断 地質調査の結果、軟岩が混在していることが判明	
H30		工事着手時に、建設発生土の一部にヒ素が検出され、当初想定していた公共事業受入地への残土受入れが不可となり処分方法を変更した。 4.7億円の増額が確定
H31	トンネル工事着手	
R2	発破試験による地すべりブロックの挙動がないことを確認 トンネル支保パターンの設計が確定 施工中に天井部からの湧水により崩落発生し、対策工が追加 35.5億円の増額が確定	
R3	事業再評価 （全体事業費　227億円（+40億円））	

1）防災面の課題

※H28年度事業評価監視委員会の評価時点から大きな変化なし

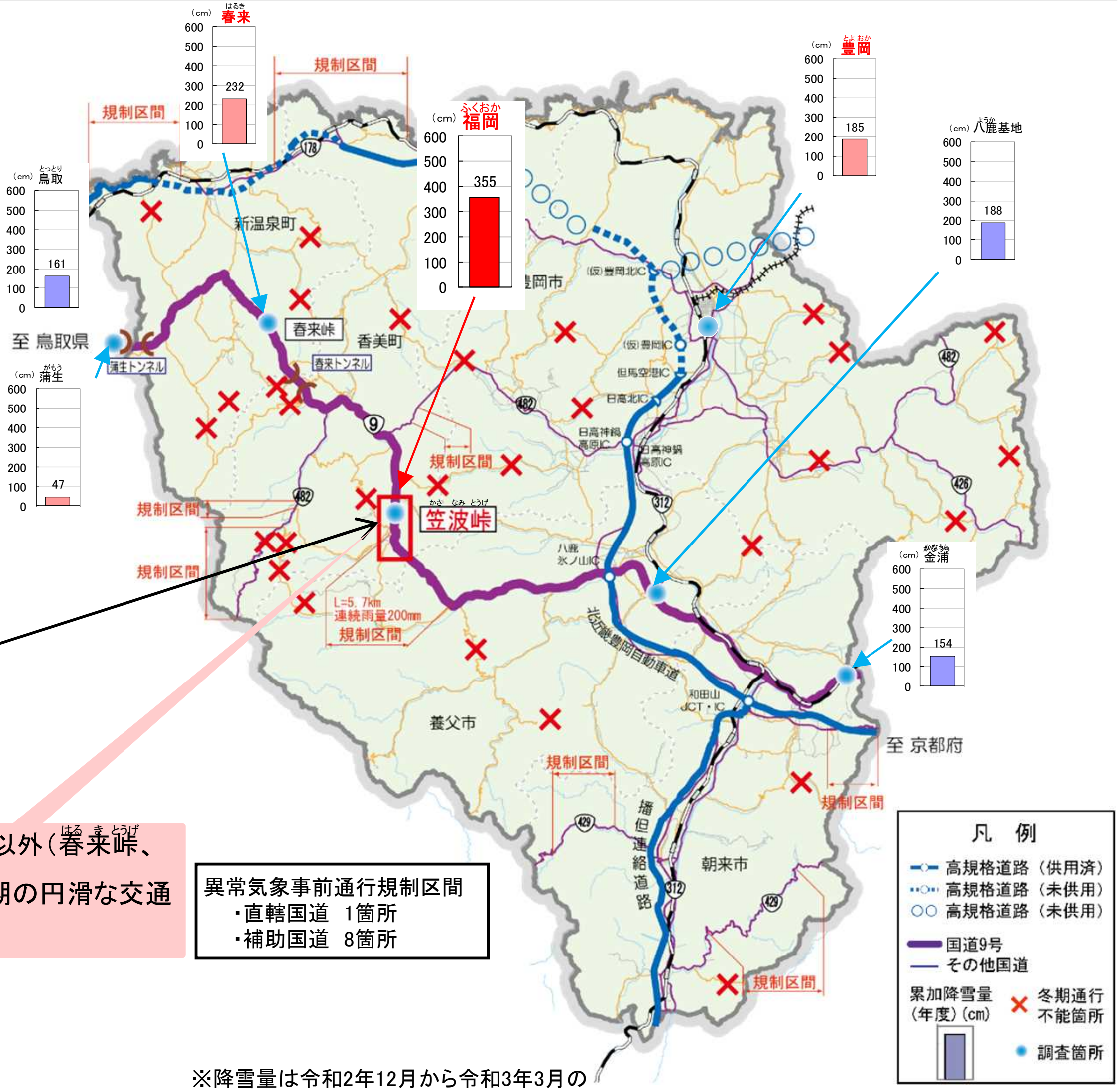
■但馬北部地域は国内でも有数の豪雪地帯で、笠波峠付近の福岡では累計積雪深は3mを超過
■国道9号の周辺道路は冬期通行不能箇所が多く、主要交通は国道9号が担っている

■当該地域は国内屈指の豪雪地帯
（令和2年度　累加降雪量）



※降雪量は令和2年12月から令和3年3月の累加降雪量
出典：気象庁HPより（但馬地域は豊岡河川国道事務所調べ）

■積雪による冬期通行規制実績（H28～R2年度）
区　　間：養父市関宮～香美町村岡区日影
通 行 止：2回　、　規制時間：541分
片側交互：3回　、　規制時間：501分
※豊岡河川国道事務所調べ



〇豪雪となる峠のうち、笠波峠以外（春来峠、蒲生峠）はトンネル構造で冬期の円滑な交通を確保

R3.1.07　事業区間内（日影地区）における降雪状況

※降雪量は令和2年12月から令和3年3月の累加降雪量　（出典：豊岡河川国道事務所調べ）
※H27～R1年度冬期通行止め実績箇所
（出典：兵庫県土木整備部）

2）防災面の課題

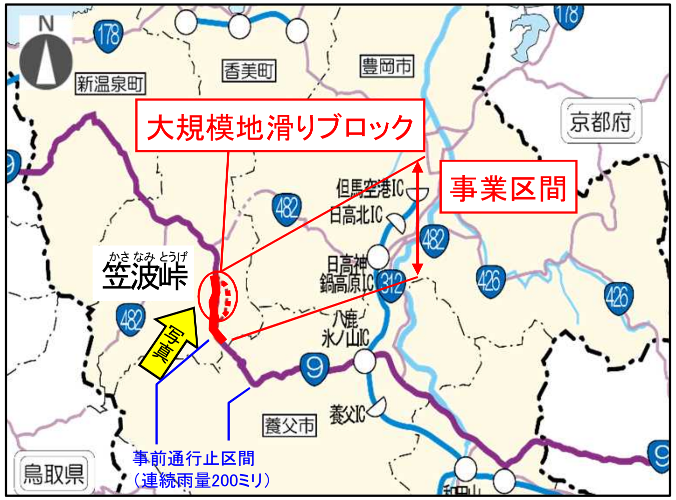
※H28年度事業評価監視委員会の評価時点から大きな変化なし

■一般国道9号の笠波峠（かさなみとうげ）付近には大規模地滑りブロックがあり、その一部は「地滑り地域 ※」に指定

■一般国道9号は地滑り末端部に位置し、これまでに地表面の変位や小規模な崩壊を確認

※地滑り地域：昭和35年に黒田（くろだ）地区地滑りとして指定

【位置図①】



【位置図②】

《地滑り地域周辺》

【崩壊状況】

▲平成15年度の災害状況
〔国道9号法面下の旧道崩壊〕

▲平成25年10月現在
〔対策後状況〕

2）事業の整備効果（冬期の安全で円滑な交通の確保※）

※H28年度事業評価監視委員会の評価時点から大きな変化なし

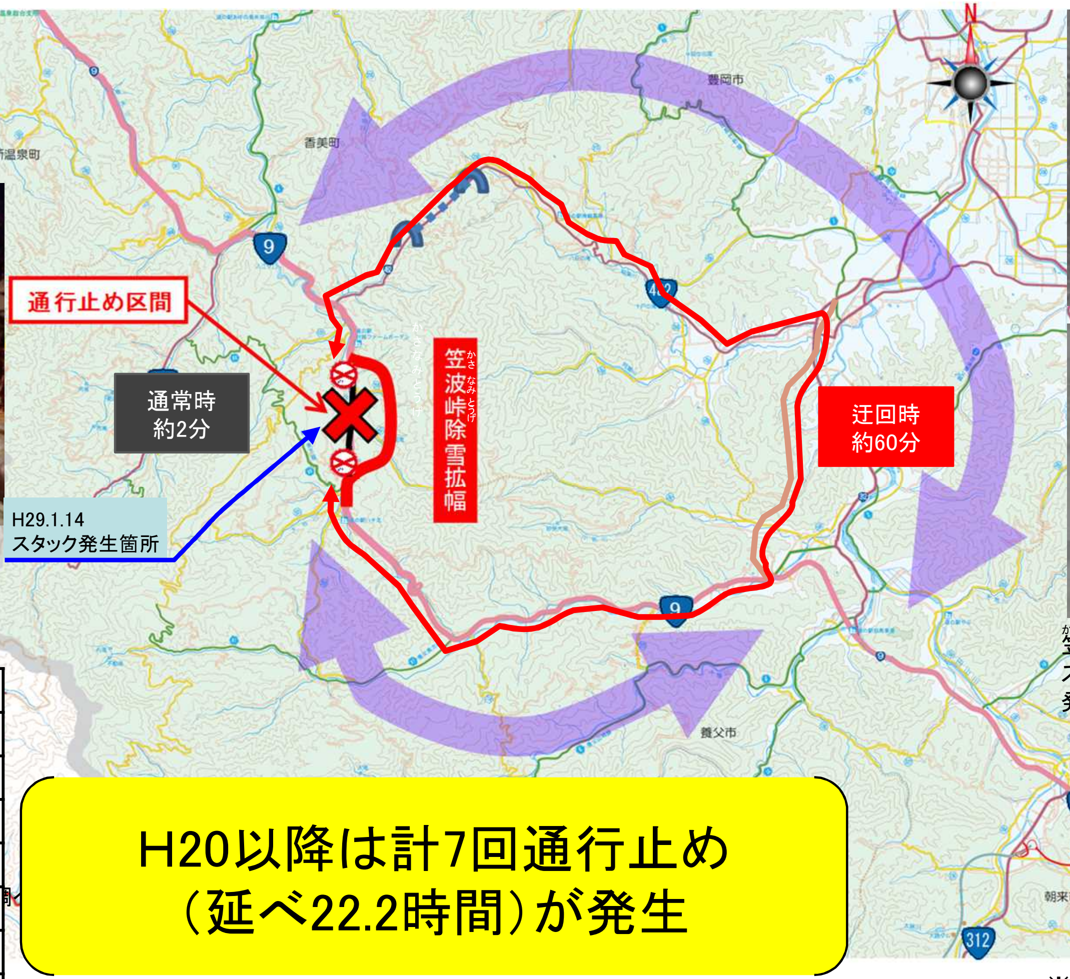
■積雪により、現道ではH20以降に計7回通行止めが発生

■現道で通行止めが発生した場合、大幅な迂回を要するが、笠波峠除雪拡幅の整備により、通行止めによる迂回を回避することが可能

※通行止め実績に基づいた将来発生する迂回解消の効果はP.11の効果に含む

■現道区間（国道9号）が通行止め時の迂回

H29.1.14 片側交互通行規制中に、別の大型車がスタック



■H29年1月14～15【片側交互通行規制】

笠波峠（日影側）の急勾配（約8%）区間で大型車がスタック。迂回路がないため峠の両側で滞留車が発生

■国道9号規制実績（事業区間内）

発生年月日	通行止時間（h）
H20.02.05	5.0
H20.02.23	3.5
H22.01.05	0.4
H22.12.25	2.5
H27.03.10	1.8
H29.01.14	1.5
H30.02.06	7.5

H20以降は計7回通行止め
（延べ22.2時間）が発生

※豊岡河川国道事務所調べ

※福岡地区のH29年1月14日の降雪量は33cm
13日～15日の3日間の累積降雪量は83cm

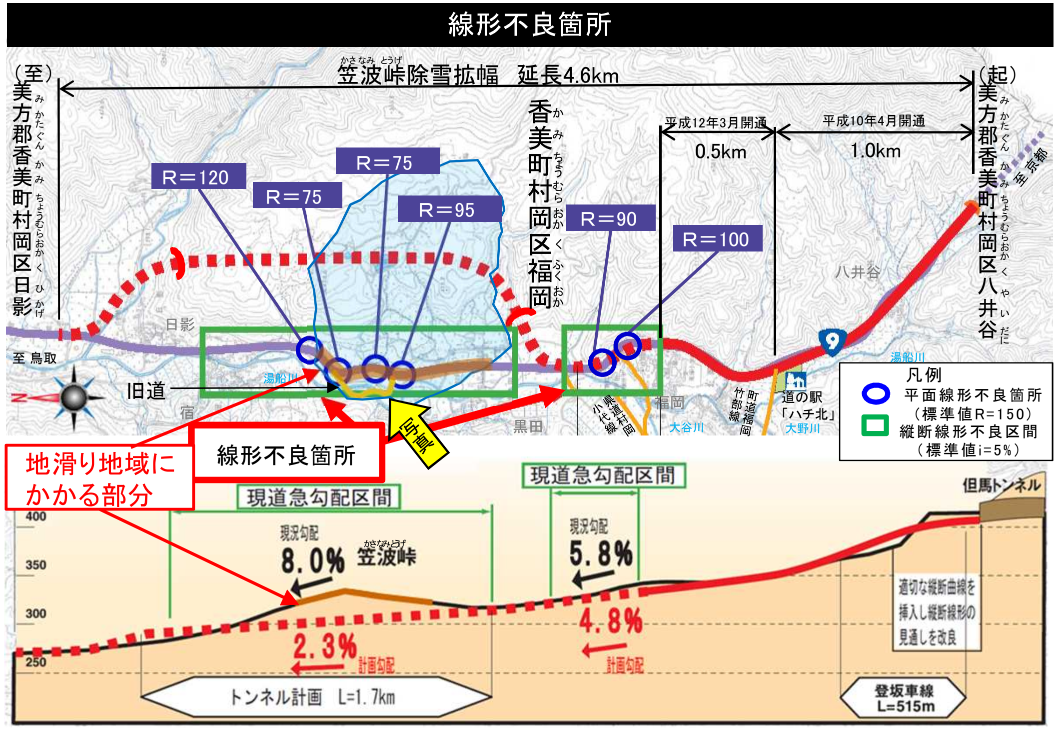
2）事業の整備効果（地すべり区間の回避）

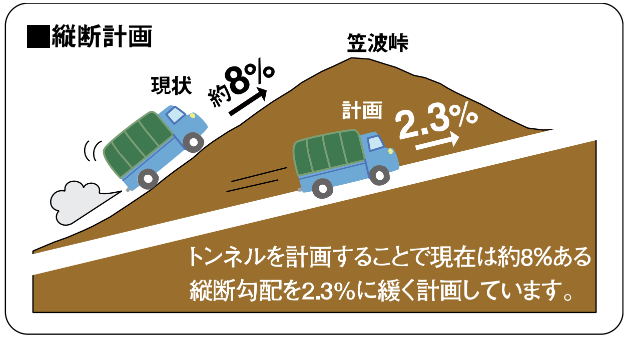
※H28年度事業評価監視委員会の評価時点から大きな変化なし

■黒田地区に存在する大規模な地すべりブロックの区間をトンネルで計画

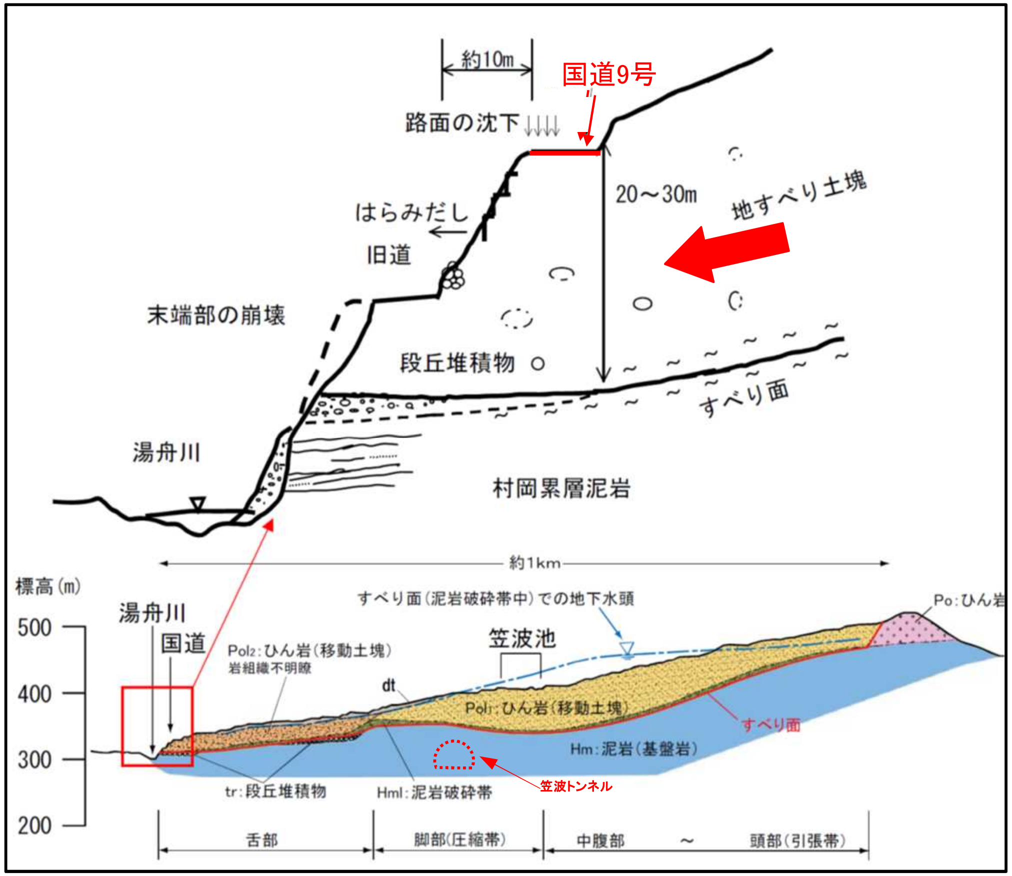
■笠波峠の急勾配及び線形不良区間も解消

■笠波峠除雪拡幅の整備により、地すべりに対する安全性を確保





▲平成15年度の災害状況



平成15年度の地すべりブロック区間で発生した
国道9号法面下の旧道崩壊

3）事業の投資効果

・効果については、災害時の迂回解消を含む「走行時間短縮」「走行経費減少」「交通事故減少」について貨幣換算を行い算出
・費用については、道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出

■費用　337億円

□事業全体	337億円	□残事業	83億円
・事業費	322億円	・事業費	72億円
・維持修繕費	15億円	・維持修繕費	12億円

■効果　343億円

・走行時間短縮	324億円
・走行経費減少	18億円
・交通事故減少	1億円

■算出条件等

基準年	：令和3年度
検討期間	：50年間
現在価値算出のための社会的割引率	：4％
交通量の推計時点	：令和12年度
推計に用いた資料	：平成22年度全国道路・街路交通情勢調査
適用した費用便益分析マニュアル	：平成30年2月版
事業費	：227億円
維持管理費	：20百万円/km
作成主体	：近畿地方整備局

※1　便益・費用については、現在価値化した値である
※2　合計値は表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある
※3　残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している
※4　推計に用いるOD表は現時点で最新の平成22年度全国道路・街路交通情勢調査を使用している
※5　参考：前回評価資料　https://www.kkr.mlit.go.jp/plan/ippan/zigyohyoka/ol9a8v000000cg01-att/13.pdf

5.事業の進捗の見込みの視点　一般国道9号　笠波峠除雪拡幅

1）事業の進捗状況

令和3年度事業内容

・現在、用地取得、調査設計、改良工事、トンネル工事を実施しています。

進捗状況

・令和2年度末までの進捗は、用地取得率約97％（面積ベース）、事業進捗率は約68％（事業費ベース）です。

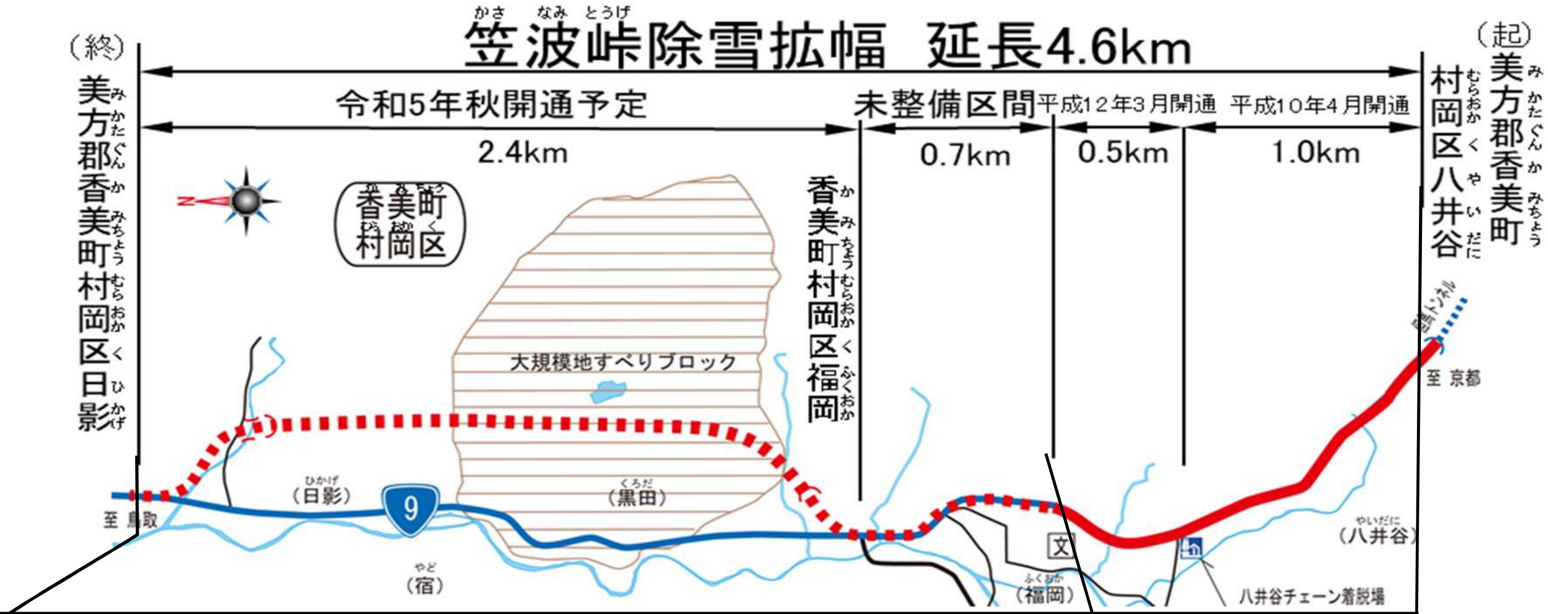
事業進捗上の課題

・大きな課題はありません。

2）今後の事業スケジュール等

・令和5年秋に香美町村岡区福岡から同町村岡区日影間の延長2.4kmが2車線で開通予定。

・残区間0.7kmにおいては引き続き用地取得、調査設計を推進します。



区間	未開通区間		開通済区間
用地	用地進捗約97%		
	用地取得済	用地推進	用地取得済
工事	調査設計　改良工事　トンネル工事　推進		H10～11年度開通（2車線）

※用地取得率はR3年3月末時点の面積ベース

6.コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点　一般国道9号　笠波峠除雪拡幅

笠(かさ)波(なみ)峠(とうげ)除雪拡幅の計画は、冬期の安全で円滑な交通の確保、地すべり区間の回避等を目的として選定された合理的な計画であり、周辺の環境や景観の保全を図っています。

今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していきます。

7.関係自治体の意見

一般国道9号　笠波峠除雪拡幅

■兵庫県知事

令和3年9月14日　土第1277号
近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る意見照会について（回答）

一般国道9号は、日常生活はもとより、産業や観光など地域の活性化を支える上でも、重要な幹線道路である。
但馬地域の香美町村岡区は、国内でも有数の豪雪地帯であることから、国道9号の周辺道路の多くが冬季通行不能となり、地域の交通は国道9号に依存している状況である。
しかしながら、笠波峠は現道が急勾配でカーブがきつく、降雪時には車両の立ち往生が発生するなど、特に冬期間における安全で円滑な交通の確保が課題となっている。また、豪雪時の対策は、平成30年の福井豪雪などにより、重要性がますます高まっている。
令和2年にトンネル工事に着手され、地元も早期開通を期待していることから、引き続き、より一層のコスト縮減に努めつつ、香美町村岡区福岡～日影間の令和5年秋の開通と早期の全線事業完成を図っていただきたい。

7.関係自治体の意見　一般国道9号　笠波峠除雪拡幅

◆沿線市町村の期待

■香美町長

（道路整備に期待する効果）

国道9号笠波峠は、縦断勾配がきつく、冬季の難所となっているため、道路拡幅及びトンネル化による安全で円滑な交通確保は、地域住民の悲願であり、観光客の増加や販路拡大による地域産業の拡大が期待されるとともに、コロナ禍で厳しい環境下にある経済の復興を図るためにも、一日も早い開通が望まれる。

①観光

・町内3スキー場、但馬高原植物園等の観光施設への京阪神地域からのアクセス向上、麒麟のまち圏域（但馬圏域と鳥取県東部市町との連携）での観光交流の促進による交流人口、観光客数の増加。

②地域産業

・製造業などの製品輸送や原材料輸送の利便性の向上による経営の効率化、コスト削減、売上額の増加。

③円滑な交通の確保

・国道9号は緊急輸送道路であるが、雪害による通行止めが度々発生している状況であり、特に笠波峠は顕著であるため、道路拡幅及びトンネル化による安全で円滑な交通確保に期待。

（町の取り組み）

①観光

・麒麟のまち圏域との観光周遊ツアーの造成、周遊エリアの形成、広域観光の推進。

②地域産業

・雇用の場の創出、事業者の規模拡大や売上額増加のための設備投資、雇用拡大、起業・創業への支援。

③円滑な交通の確保

・平成28年度に「国道9号笠波峠除雪拡幅整備促進期成同盟会」を設立し、雪害により被害の解消を図り安心・安全で円滑な交通の確保を図るため、地域住民が一丸となって事業の整備促進に取り組んでいる。

8.対応方針(原案)

笠波峠除雪拡幅は、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる
引き続き事業を推進し、早期の供用を目指すことが適切である

事　業　継　続

No. 3
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
令和3年度第3回

一般国道9号

かさなみとうげ

笠波峠除雪拡幅

【再評価】

（計算結果等参考資料）

令 和 3 年 9 月

近 畿 地 方 整 備 局

新型コロナウイルス対策に伴う工事等の一時中止によるコスト、工期への影響は考慮していない

（再評価）

様式１　客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道9号　笠波峠除雪拡幅
事業主体	近畿地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指　　標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■　効果が費用を上回っている	○費用 ・事業全体：事業費322億円（72億円）、維持管理費15億円（12億円） ○効果 ・災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮等　　343億円（234億円） ※（）内の数値は残事業の効果 （注1）事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。 （注2）費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指　標　（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
１．活力	円滑なモビリティの確保	●　現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a（費用便益分析対象区間）について 渋滞損失時間（現況）：16094万人・時間/年 渋滞損失削減時間：27万人・時間/年（40277万人・時間/年⇒40250万人・時間/年） 区間b（当該区間／並行区間）について：一般国道9号（県)村岡小代線（県)村岡竹野線 並行区間等（当該区間）の渋滞損失時間：27万人・時間/年 並行区間等（当該区間）の渋滞損失削減率：9割削減
		□　現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□　現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■　現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	全但バス、全但バス（特急バス（高速乗合バス））
		□　新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		□　第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	□　重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		■　農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	但馬地域、主な出荷先：京阪神地域（ズワイガニ、ハタハタ）
		□　現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	

１．活力	都市の再生	□　都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□　広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		□　市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		□　中心市街地内で行う事業である	
		□　幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		□　DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		□　対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	□　高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	
		□　地域高規格道路の位置づけあり	
		□　当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		□　当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		□　現道等における交通不能区間を解消する	
		□　現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		■　日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	香美町村岡区（道の駅ハチ北）～豊岡市（改善見込み：約53分→約51分）
	個性ある地域の形成	□　鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		■　拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	兵庫県広域都市計画基本方針
		■　主要な観光地へのアクセス向上が期待される	但馬地域〔湯村温泉・ハチ北高原・城崎温泉・コウノトリの郷公園他〕（年間観光客入込数：約941万人/年　R1年）
		□　新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
２．暮らし	歩行者･自転車のための生活空間の形成	□　自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		□　バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	□　対象区間が電線類地中化５ヶ年計画に位置づけ有り	
		□　市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	■　三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	香美町村岡区(道の駅ハチ北）～公立豊岡病院（所要時間：約50分→約48分）

３．安全	安全な生活環境の確保	□ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		□ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	□ 近隣市へのルートが１つしかなく、災害による１～２箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	兵庫県地域防災計画（緊急輸送路ネットワーク）
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	国道9号トンネル区間（黒田～日影区間）
		□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		■ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	大規模地滑り影響区間　国道9号　黒田～宿区間
		■ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	事前通行規制区間　国道9号　関宮～福岡区間　L=5.7km 冬期交通障害区間　国道9号　福岡～日影区間　L=3.0km
４．環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量:1688t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：一般国道9号（県）村岡小代線（県）村岡竹野線 排出削減量：11.18t／年、排出削減率：10割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてNOx排出増加量：4.28t／年
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：一般国道9号（県）村岡小代線（県）村岡竹野線 排出削減量：0.65t／年、排出削減率：10割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてＳＰＭ排出増加量：0.24t／年
		□ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		□ その他、環境や景観上の効果が期待される	
５．その他	他のﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄとの関係	□ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	「兵庫県広域都市計画基本方針（平成20年5月）」（拠点間の接続を強化する路線に位置づけ） 「但馬地域都市計画区域マスタープラン」（令和3年3月）（主要な都市施設の整備目標に位置づけ） 「第２次香美町総合計画 後期基本計画（2021-2025）」（令和3年3月）（整備促進事業に位置づけ） 「香美町過疎地域自立促進計画（平成27年12月）」（整備促進事業に位置づけ） 「第2期香美町総合戦略」（令和元年11月）（施策指標達成状況の指標に位置づけ）
	その他	■ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	大規模地滑りによる影響を回避し、京阪神と山陰地方を結ぶ大動脈の安定した利用の効果が見込まれる

（再評価）

様式－２

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道9号	笠波峠除雪拡幅	Ｌ＝4.6km	二次改築	現拡、ＢＰ

計画交通量（台/日）	車線数	事業主体
8,100	2車線	近畿地方整備局

① 費　用

	事　業　費	維持管理費	合　　計
基 準 年	令和3年度		
単純合計	212億円	42億円	253億円
うち残事業分	77億円	32億円	109億円
基準年における現在価値（Ｃ）	322億円	15億円	337億円
うち残事業分	72億円	12億円	83億円

② 便　益

	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	合　　計
基 準 年	令和3年度			
供 用 年	令和8年度			
単年便益（初年便益）	19億円	1.1億円	0.06億円	20億円
基準年における現在価値（Ｂ）	324億円	18億円	0.91億円	343億円
うち残事業分	219億円	14億円	0.91億円	234億円

交通状況の変化

様式－３①

事業名：笠波峠除雪拡幅（事業全体）

（推計時点　　令和12年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路 (4.6km)		交通量※1	[台/日]	8,100	8,100
		走行時間※2	[分]	7	5
		走行時間費用※3	[億円/年]	12.17	8.84
②主な周辺道路※4	一般国道9号 (2.5km)	交通量	[台/日]	8,100	0
		走行時間	[分]	10	0
		走行時間費用	[億円/年]	15.69	0.00
	(県)村岡小代線 (8.3km)	交通量	[台/日]	100	100
		走行時間	[分]	12	12
		走行時間費用	[億円/年]	0.26	0.26
	(県)村岡竹野線 (3.0km)	交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.01	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
③その他道路合計 (7,289.0km)		走行時間費用	[億円/年]	24,853.50	24,853.41

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A － B)
合計：7,307.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	24,881.63	24,862.51	19.11

※１：　当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※２：　配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３：　費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４：　当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５：　②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

（２） 図面（①、②に該当する道路を明示すること）

交通状況の変化

様式－３①

事業名：笠波峠除雪拡幅（残事業）

（推計時点　　令和12年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路 (3.1km)		交通量※1	[台/日]	8,300	8,200
		走行時間※２	[分]	2	4
		走行時間費用※3	[億円/年]	3.17	6.02
②主な周辺道路※4	一般国道9号 (2.5km)	交通量	[台/日]	8,100	0
		走行時間	[分]	10	0
		走行時間費用	[億円/年]	15.69	0.00
	(県)村岡小代線 (8.3km)	交通量	[台/日]	100	100
		走行時間	[分]	12	12
		走行時間費用	[億円/年]	0.26	0.26
	(県)村岡竹野線 (3.0km)	交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.01	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
③その他道路合計 (7,290.5km)		走行時間費用	[億円/年]	24,856.32	24,856.24

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A － B)
合計：7,307.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	24,875.45	24,862.51	12.94

※１：　当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※２：　配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３：　費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４：　当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５：　②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

（２）　図面（①、②に該当する道路を明示すること）

様式－3②

費用便益分析の条件

事業名: 笠波峠除雪拡幅

（2）

項目			チェック欄
算出マニュアル		費用便益分析マニュアル （平成30年2月　国土交通省　道路局　都市局）	■
		その他	□
分析の基本的事項		分析対象期間	50年間
		社会的割引率	4%
		基準年次	令和3年
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	■（R12）
		複数時点での推計	□
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	■
		整備の有無のいずれかのみ推計	□ 有　　□ 無
		いずれかのみの推計の場合：いずれかのみの推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 （三段階推定法）	■ （H22センサス）
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 （四段階推定法）	□
		その他（　　　　　　　　　　　　　　）	□
	開発交通量の考慮	無	■
		有	□
		有の場合のみ：考慮した開発交通量（トリップ数）	（　　）台ﾄﾘｯﾌﾟ/日
		有の場合のみ：考慮した理由を記載	
	配分交通量の推計手法	Q－V式を用いた配分	□
		転換率式を用いた配分	□
		Q－V式と転換率式の併用による配分	□
		均衡配分（リンクパフォーマンス関数を用いた配分）	□
		簡易手法	□
		簡易手法の採択理由：小規模事業である	□
		簡易手法の採択理由：山間部海岸部で併行道路が少ない	□
		簡易手法の採択理由：その他（　　　　　　　　　　）	
		簡易手法の考え方（将来交通量の設定方法等）	
		その他（ BPR関数と転換率式の併用による配分　　）	■
	速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	□
		採用理由を記載	
		最終配分の速度	■
		採用理由を記載：分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。	
		その他（　　　　　　　　　　　　　　）	□

事業名：笠波峠除雪拡幅

（3）

<table>
<tr><th colspan="4">項目</th><th>チェック欄</th></tr>
<tr><td rowspan="32">便益の算定</td><td rowspan="7">休日交通の影響</td><td colspan="2">考慮しない</td><td>■</td></tr>
<tr><td colspan="2">考慮する</td><td>□</td></tr>
<tr><td rowspan="5">考慮する場合のみ</td><td>面的に考慮</td><td>□</td></tr>
<tr><td>対象路線のみ考慮</td><td>□</td></tr>
<tr><td>採用した休日係数</td><td>（　　）％</td></tr>
<tr><td colspan="2">休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="7">災害等による通行止めの影響</td><td colspan="2">考慮しない</td><td>□</td></tr>
<tr><td colspan="2">考慮する</td><td>■</td></tr>
<tr><td rowspan="5">考慮する場合のみ</td><td>採用した通行止め日数</td><td>（ 1 ）日</td></tr>
<tr><td colspan="2">採用した通行止め日数の考え方を記載
過去10年の実績値より算出</td></tr>
<tr><td>とり止め交通を考慮する</td><td>□</td></tr>
<tr><td colspan="2">とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="6">冬期交通の影響</td><td colspan="2">考慮しない</td><td>■</td></tr>
<tr><td colspan="2">考慮する</td><td>□</td></tr>
<tr><td rowspan="4">考慮する場合のみ</td><td>採用した冬期日数</td><td>（　　）日</td></tr>
<tr><td colspan="2">採用した冬期日数の考え方を記載</td></tr>
<tr><td colspan="2">冬期の走行速度と交通容量の関係</td></tr>
<tr><td colspan="2">設定の考え方を記載</td></tr>
<tr><td rowspan="2">交通流推計の時点以外の便益の算定</td><td colspan="2">ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定</td><td>■</td></tr>
<tr><td colspan="2">その他
（　　　　　　　　　　　　　　　　　）</td><td>□</td></tr>
<tr><td rowspan="3">車種別時間価値原単位</td><td colspan="2">費用便益分析マニュアルの値を使用</td><td>■</td></tr>
<tr><td colspan="2">独自に設定した値を使用</td><td>□</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">車種別走行経費原単位</td><td colspan="2">費用便益分析マニュアルの値を使用</td><td>■</td></tr>
<tr><td colspan="2">独自に設定した値を使用</td><td>□</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">交通事故減少便益算定</td><td colspan="2">中央分離帯の有無を考慮</td><td>□</td></tr>
<tr><td colspan="2">中央分離帯の有無を考慮しない</td><td>■</td></tr>
<tr><td rowspan="3">走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益</td><td colspan="2">考慮しない</td><td>■</td></tr>
<tr><td colspan="2">考慮する</td><td>□</td></tr>
<tr><td colspan="3">（考慮の場合、算出根拠を添付すること）</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4">その他</td></tr>
</table>

事業名：笠波峠除雪拡幅

（4）

<table>
<tr><th colspan="4">項目</th><th>チェック欄</th></tr>
<tr><td rowspan="12">費用の算定</td><td rowspan="3">事業費</td><td colspan="2">詳細事業計画による値を採用</td><td>□</td></tr>
<tr><td colspan="2">標準投資パターンを採用</td><td>■</td></tr>
<tr><td colspan="2">その他（　　　　　　　　　　）</td><td>□</td></tr>
<tr><td>維持管理費</td><td colspan="3">維持管理費の設定根拠を記載
既存の路線の実績を参考に設定</td></tr>
<tr><td>雪寒費</td><td colspan="2">積雪地域または寒冷地域である</td><td>□</td></tr>
<tr><td rowspan="6">当該道路整備が行われない場合の費用</td><td colspan="2">考慮しない</td><td>■</td></tr>
<tr><td colspan="2">考慮する</td><td>□</td></tr>
<tr><td rowspan="3">考慮する場合のみ</td><td>事業費を考慮</td><td>□</td></tr>
<tr><td>維持管理費を考慮</td><td>□</td></tr>
<tr><td colspan="2">当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載（対策内容、費用等）</td></tr>
<tr><td colspan="4">その他</td></tr>
<tr><td colspan="5">４．その他</td></tr>
</table>

様式－４

費用の現在価値算定表（事業全体）

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.20	4.6	0.92

箇所名：一般国道9号 笠波峠除雪拡幅

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費（億円） 単純価値	事業費（億円） 現在価値	維持管理費（億円） 単純価値	維持管理費（億円） 現在価値
-39年目	S 62	3.7943	104.1	0.30	1.11		
-38年目	S 63	3.6484	104.7	1.80	6.35		
-37年目	H 1	3.5081	107.5	2.62	8.66		
-36年目	H 2	3.3731	109.9	2.91	9.05		
-35年目	H 3	3.2434	112.5	3.25	9.49		
-34年目	H 4	3.1187	114.1	2.09	5.77		
-33年目	H 5	2.9987	114.4	2.56	6.80		
-32年目	H 6	2.8834	114.3	4.85	12.39		
-31年目	H 7	2.7725	113.7	4.66	11.50		
-30年目	H 8	2.6658	113.2	7.09	16.89		
-29年目	H 9	2.5633	114.2	1.50	3.40		
-28年目	H 10	2.4647	113.6	5.81	12.76		
-27年目	H 11	2.3699	112.0	23.86	51.09		
-26年目	H 12	2.2788	110.7	2.60	5.42		
-25年目	H 13	2.1911	109.4	4.17	8.45		
-24年目	H 14	2.1068	107.6	1.43	2.83		
-23年目	H 15	2.0258	106.1	1.15	2.23		
-22年目	H 16	1.9479	105.0	3.49	6.54		
-21年目	H 17	1.8730	103.7	1.43	2.61		
-20年目	H 18	1.8009	103.0	1.79	3.17		
-19年目	H 19	1.7317	102.1	4.10	7.05		
-18年目	H 20	1.6651	101.6	1.77	2.94		
-17年目	H 21	1.6010	100.3	0.89	1.43		
-16年目	H 22	1.5395	98.6	0.49	0.77		
-15年目	H 23	1.4802	97.2	0.18	0.28		
-14年目	H 24	1.4233	96.4	0.85	1.27		
-13年目	H 25	1.3686	96.4	0.25	0.36		
-12年目	H 26	1.3159	98.7	0.09	0.12		
-11年目	H 27	1.2653	100.2	0.09	0.12		
-10年目	H 28	1.2167	100.3	0.09	0.12		
-9年目	H 29	1.1699	100.5	4.65	5.47		
-8年目	H 30	1.1249	100.4	5.56	6.30		
-7年目	R 1	1.0816	101.2	9.92	10.73		
-6年目	R 2	1.0400	101.2	11.87	12.34		
-5年目	R 3	1.0000	101.2	14.58	14.58		
-4年目	R 4	0.9615	101.2	40.94	39.36		
-3年目	R 5	0.9246	101.2	19.09	17.65		
-2年目	R 6	0.8890	101.2	9.09	8.08		
-1年目	R 7	0.8548	101.2	7.66	6.55		
供用開始年次	R 8	0.8219	101.2			0.84	0.69
1年目	R 9	0.7903	101.2			0.84	0.66
2年目	R 10	0.7599	101.2			0.84	0.64
3年目	R 11	0.7307	101.2			0.84	0.61
4年目	R 12	0.7026	101.2			0.84	0.59
5年目	R 13	0.6756	101.2			0.84	0.57
6年目	R 14	0.6496	101.2			0.84	0.54
7年目	R 15	0.6246	101.2			0.84	0.52
8年目	R 16	0.6006	101.2			0.84	0.50
9年目	R 17	0.5775	101.2			0.84	0.48
10年目	R 18	0.5553	101.2			0.84	0.46
11年目	R 19	0.5339	101.2			0.84	0.45
12年目	R 20	0.5134	101.2			0.84	0.43
13年目	R 21	0.4936	101.2			0.84	0.41
14年目	R 22	0.4746	101.2			0.84	0.40
15年目	R 23	0.4564	101.2			0.84	0.38
16年目	R 24	0.4388	101.2			0.84	0.37
17年目	R 25	0.4220	101.2			0.84	0.35
18年目	R 26	0.4057	101.2			0.84	0.34
19年目	R 27	0.3901	101.2			0.84	0.33
20年目	R 28	0.3751	101.2			0.84	0.31
21年目	R 29	0.3607	101.2			0.84	0.30
22年目	R 30	0.3468	101.2			0.84	0.29
23年目	R 31	0.3335	101.2			0.84	0.28
24年目	R 32	0.3207	101.2			0.84	0.27
25年目	R 33	0.3083	101.2			0.84	0.26
26年目	R 34	0.2965	101.2			0.84	0.25
27年目	R 35	0.2851	101.2			0.84	0.24
28年目	R 36	0.2741	101.2			0.84	0.23
29年目	R 37	0.2636	101.2			0.84	0.22
30年目	R 38	0.2534	101.2			0.84	0.21
31年目	R 39	0.2437	101.2			0.84	0.20
32年目	R 40	0.2343	101.2			0.84	0.20
33年目	R 41	0.2253	101.2			0.84	0.19
34年目	R 42	0.2166	101.2			0.84	0.18
35年目	R 43	0.2083	101.2			0.84	0.17
36年目	R 44	0.2003	101.2			0.84	0.17
37年目	R 45	0.1926	101.2			0.84	0.16
38年目	R 46	0.1852	101.2			0.84	0.15
39年目	R 47	0.1780	101.2			0.84	0.15
40年目	R 48	0.1712	101.2			0.84	0.14
41年目	R 49	0.1646	101.2			0.84	0.14
42年目	R 50	0.1583	101.2			0.84	0.13
43年目	R 51	0.1522	101.2			0.84	0.13
44年目	R 52	0.1463	101.2			0.84	0.12
45年目	R 53	0.1407	101.2			0.84	0.12
46年目	R 54	0.1353	101.2			0.84	0.11
47年目	R 55	0.1301	101.2			0.84	0.11
48年目	R 56	0.1251	101.2			0.84	0.10
49年目	R 57	0.1203	101.2	-3.37	-0.41	0.84	0.10
合　計				208.15	321.62	41.82	15.35
単純事業費計				211.52		41.82	

注1）事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
（投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。）

注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－４

費用の現在価値算定表（残事業）

箇所名：一般国道9号 笠波峠除雪拡幅

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.23	3.1	0.70

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費（億円）		維持管理費（億円）	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-4年目	R 4	0.9615	101.2	40.94	39.36		
-3年目	R 5	0.9246	101.2	19.09	17.65		
-2年目	R 6	0.8890	101.2	9.09	8.08		
-1年目	R 7	0.8548	101.2	7.66	6.55		
供用開始年次	R 8	0.8219	101.2			0.64	0.52
1年目	R 9	0.7903	101.2			0.64	0.50
2年目	R 10	0.7599	101.2			0.64	0.48
3年目	R 11	0.7307	101.2			0.64	0.46
4年目	R 12	0.7026	101.2			0.64	0.45
5年目	R 13	0.6756	101.2			0.64	0.43
6年目	R 14	0.6496	101.2			0.64	0.41
7年目	R 15	0.6246	101.2			0.64	0.40
8年目	R 16	0.6006	101.2			0.64	0.38
9年目	R 17	0.5775	101.2			0.64	0.37
10年目	R 18	0.5553	101.2			0.64	0.35
11年目	R 19	0.5339	101.2			0.64	0.34
12年目	R 20	0.5134	101.2			0.64	0.33
13年目	R 21	0.4936	101.2			0.64	0.31
14年目	R 22	0.4746	101.2			0.64	0.30
15年目	R 23	0.4564	101.2			0.64	0.29
16年目	R 24	0.4388	101.2			0.64	0.28
17年目	R 25	0.4220	101.2			0.64	0.27
18年目	R 26	0.4057	101.2			0.64	0.26
19年目	R 27	0.3901	101.2			0.64	0.25
20年目	R 28	0.3751	101.2			0.64	0.24
21年目	R 29	0.3607	101.2			0.64	0.23
22年目	R 30	0.3468	101.2			0.64	0.22
23年目	R 31	0.3335	101.2			0.64	0.21
24年目	R 32	0.3207	101.2			0.64	0.20
25年目	R 33	0.3083	101.2			0.64	0.20
26年目	R 34	0.2965	101.2			0.64	0.19
27年目	R 35	0.2851	101.2			0.64	0.18
28年目	R 36	0.2741	101.2			0.64	0.17
29年目	R 37	0.2636	101.2			0.64	0.17
30年目	R 38	0.2534	101.2			0.64	0.16
31年目	R 39	0.2437	101.2			0.64	0.16
32年目	R 40	0.2343	101.2			0.64	0.15
33年目	R 41	0.2253	101.2			0.64	0.14
34年目	R 42	0.2166	101.2			0.64	0.14
35年目	R 43	0.2083	101.2			0.64	0.13
36年目	R 44	0.2003	101.2			0.64	0.13
37年目	R 45	0.1926	101.2			0.64	0.12
38年目	R 46	0.1852	101.2			0.64	0.12
39年目	R 47	0.1780	101.2			0.64	0.11
40年目	R 48	0.1712	101.2			0.64	0.11
41年目	R 49	0.1646	101.2			0.64	0.10
42年目	R 50	0.1583	101.2			0.64	0.10
43年目	R 51	0.1522	101.2			0.64	0.10
44年目	R 52	0.1463	101.2			0.64	0.09
45年目	R 53	0.1407	101.2			0.64	0.09
46年目	R 54	0.1353	101.2			0.64	0.09
47年目	R 55	0.1301	101.2			0.64	0.08
48年目	R 56	0.1251	101.2			0.64	0.08
49年目	R 57	0.1203	101.2	−0.34	−0.04	0.64	0.08
合　計				76.45	71.60	31.82	11.67

単純事業費計		76.79	31.82

注1）事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
（投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。）

注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式-5

便益の現在価値算定表（事業全体）

箇所名:　一般国道9号 笠波峠除雪拡幅

年次	年度（基準年）R 3	総走行台キロの年次別伸び率（近畿臨海ブロック）乗用車類	小型貨物	普通貨物	全　車	割引率（A）	GDPデフレータ	走行時間便益（億円）乗用車類	小型貨物	普通貨物	①　計	現在価値①×（A）	走行経費便益（億円）乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値②×（A）	事故減少便益（億円）③	現在価値③×（A）	合　計（億円）便益合計（①～③）	現在価値 割引率4%
供用開始年次	R 8	0.99868	0.98416	1.00526	0.99725	0.8219	101.2	8.89	3.42	6.93	19.23	15.81	0.43	0.10	0.54	1.07	0.88	0.06	0.05	20.36	16.73
1年目	R 9	0.99868	0.98390	1.00523	0.99725	0.7903	101.2	8.88	3.36	6.96	19.20	15.18	0.43	0.10	0.54	1.07	0.85	0.06	0.04	20.33	16.07
2年目	R 10	0.99868	0.98364	1.00521	0.99724	0.7599	101.2	8.87	3.31	7.00	19.17	14.57	0.43	0.10	0.54	1.07	0.82	0.05	0.04	20.30	15.43
3年目	R 11	0.99868	0.98337	1.00518	0.99723	0.7307	101.2	8.85	3.25	7.04	19.14	13.99	0.43	0.10	0.55	1.07	0.78	0.05	0.04	20.27	14.81
4年目	R 12	0.99198	0.99042	0.99839	0.99287	0.7026	101.2	8.84	3.20	7.07	19.11	13.43	0.43	0.10	0.55	1.07	0.75	0.05	0.04	20.24	14.22
5年目	R 13	0.99191	0.99033	0.99838	0.99281	0.6756	101.2	8.77	3.17	7.06	19.00	12.84	0.42	0.10	0.55	1.07	0.72	0.05	0.04	20.12	13.60
6年目	R 14	0.99185	0.99024	0.99838	0.99276	0.6496	101.2	8.70	3.14	7.05	18.89	12.27	0.42	0.10	0.55	1.06	0.69	0.05	0.03	20.01	13.00
7年目	R 15	0.99178	0.99014	0.99838	0.99271	0.6246	101.2	8.63	3.11	7.04	18.78	11.73	0.42	0.09	0.55	1.06	0.66	0.05	0.03	19.89	12.42
8年目	R 16	0.99171	0.99004	0.99837	0.99266	0.6006	101.2	8.56	3.08	7.03	18.66	11.21	0.41	0.09	0.55	1.05	0.63	0.05	0.03	19.77	11.87
9年目	R 17	0.99164	0.98994	0.99837	0.99260	0.5775	101.2	8.49	3.05	7.01	18.55	10.71	0.41	0.09	0.54	1.05	0.61	0.05	0.03	19.65	11.35
10年目	R 18	0.99157	0.98984	0.99837	0.99255	0.5553	101.2	8.42	3.02	7.00	18.44	10.24	0.41	0.09	0.54	1.04	0.58	0.05	0.03	19.53	10.85
11年目	R 19	0.99150	0.98974	0.99837	0.99249	0.5339	101.2	8.35	2.99	6.99	18.32	9.78	0.40	0.09	0.54	1.04	0.55	0.05	0.03	19.41	10.36
12年目	R 20	0.99143	0.98963	0.99836	0.99243	0.5134	101.2	8.27	2.96	6.98	18.21	9.35	0.40	0.09	0.54	1.03	0.53	0.05	0.03	19.29	9.91
13年目	R 21	0.99135	0.98952	0.99836	0.99238	0.4936	101.2	8.20	2.92	6.97	18.10	8.93	0.40	0.09	0.54	1.03	0.51	0.05	0.03	19.18	9.47
14年目	R 22	0.99128	0.98941	0.99836	0.99232	0.4746	101.2	8.13	2.89	6.96	17.98	8.54	0.39	0.09	0.54	1.02	0.48	0.05	0.02	19.06	9.04
15年目	R 23	0.99120	0.98930	0.99836	0.99226	0.4564	101.2	8.06	2.86	6.95	17.87	8.16	0.39	0.09	0.54	1.02	0.46	0.05	0.02	18.94	8.64
16年目	R 24	0.99112	0.98918	0.99835	0.99220	0.4388	101.2	7.99	2.83	6.93	17.76	7.79	0.39	0.09	0.54	1.01	0.44	0.05	0.02	18.82	8.26
17年目	R 25	0.99104	0.98906	0.99835	0.99214	0.4220	101.2	7.92	2.80	6.92	17.65	7.45	0.38	0.09	0.54	1.01	0.42	0.05	0.02	18.70	7.89
18年目	R 26	0.99096	0.98894	0.99835	0.99207	0.4057	101.2	7.85	2.77	6.91	17.53	7.11	0.38	0.08	0.54	1.00	0.41	0.05	0.02	18.58	7.54
19年目	R 27	0.99088	0.98882	0.99835	0.99201	0.3901	101.2	7.78	2.74	6.90	17.42	6.80	0.38	0.08	0.54	1.00	0.39	0.05	0.02	18.46	7.20
20年目	R 28	0.99080	0.98869	0.99834	0.99195	0.3751	101.2	7.71	2.71	6.89	17.31	6.49	0.37	0.08	0.53	0.99	0.37	0.05	0.02	18.35	6.88
21年目	R 29	0.99071	0.98856	0.99834	0.99188	0.3607	101.2	7.64	2.68	6.88	17.19	6.20	0.37	0.08	0.53	0.98	0.36	0.05	0.02	18.23	6.57
22年目	R 30	0.99062	0.98843	0.99834	0.99182	0.3468	101.2	7.57	2.65	6.87	17.08	5.92	0.37	0.08	0.53	0.98	0.34	0.05	0.02	18.11	6.28
23年目	R 31	0.99053	0.98830	0.99833	0.99175	0.3335	101.2	7.49	2.62	6.85	16.97	5.66	0.36	0.08	0.53	0.97	0.32	0.05	0.02	17.99	6.00
24年目	R 32	0.99044	0.98816	0.99833	0.99168	0.3207	101.2	7.42	2.59	6.84	16.85	5.41	0.36	0.08	0.53	0.97	0.31	0.05	0.02	17.87	5.73
25年目	R 33	0.99035	0.98802	0.99833	0.99161	0.3083	101.2	7.35	2.56	6.83	16.74	5.16	0.36	0.08	0.53	0.96	0.30	0.05	0.01	17.75	5.47
26年目	R 34	0.99026	0.98787	0.99833	0.99154	0.2965	101.2	7.28	2.53	6.82	16.63	4.93	0.35	0.08	0.53	0.96	0.28	0.05	0.01	17.63	5.23
27年目	R 35	0.99016	0.98772	0.99832	0.99147	0.2851	101.2	7.21	2.50	6.81	16.52	4.71	0.35	0.08	0.53	0.95	0.27	0.05	0.01	17.51	4.99
28年目	R 36	0.99006	0.98757	0.99832	0.99139	0.2741	101.2	7.14	2.47	6.80	16.40	4.50	0.35	0.08	0.53	0.95	0.26	0.05	0.01	17.40	4.77
29年目	R 37	0.98996	0.98741	0.99832	0.99132	0.2636	101.2	7.07	2.43	6.79	16.29	4.29	0.34	0.07	0.53	0.94	0.25	0.04	0.01	17.28	4.55
30年目	R 38	0.98986	0.98725	0.99831	0.99124	0.2534	101.2	7.00	2.40	6.77	16.18	4.10	0.34	0.07	0.53	0.94	0.24	0.04	0.01	17.16	4.35
31年目	R 39	0.98976	0.98709	0.99831	0.99116	0.2437	101.2	6.93	2.37	6.76	16.06	3.91	0.33	0.07	0.53	0.93	0.23	0.04	0.01	17.04	4.15
32年目	R 40	0.98965	0.98692	0.99831	0.99109	0.2343	101.2	6.86	2.34	6.75	15.95	3.74	0.33	0.07	0.52	0.93	0.22	0.04	0.01	16.92	3.96
33年目	R 41	0.98954	0.98674	0.99831	0.99101	0.2253	101.2	6.79	2.31	6.74	15.84	3.57	0.33	0.07	0.52	0.92	0.21	0.04	0.01	16.80	3.79
34年目	R 42	0.98943	0.98657	0.99830	0.99092	0.2166	101.2	6.71	2.28	6.73	15.72	3.41	0.32	0.07	0.52	0.92	0.20	0.04	0.01	16.68	3.61
35年目	R 43	0.98932	0.98638	0.99830	0.99084	0.2083	101.2	6.64	2.25	6.72	15.61	3.25	0.32	0.07	0.52	0.91	0.19	0.04	0.01	16.57	3.45
36年目	R 44	0.98921	0.98620	0.99830	0.99076	0.2003	101.2	6.57	2.22	6.71	15.50	3.10	0.32	0.07	0.52	0.91	0.18	0.04	0.01	16.45	3.29
37年目	R 45	0.98909	0.98600	0.99829	0.99067	0.1926	101.2	6.50	2.19	6.69	15.39	2.96	0.31	0.07	0.52	0.90	0.17	0.04	0.01	16.33	3.14
38年目	R 46	0.98897	0.98580	0.99829	0.99058	0.1852	101.2	6.43	2.16	6.68	15.27	2.83	0.31	0.07	0.52	0.90	0.17	0.04	0.01	16.21	3.00
39年目	R 47	0.98885	0.98560	0.99829	0.99049	0.1780	101.2	6.36	2.13	6.67	15.16	2.70	0.31	0.06	0.52	0.89	0.16	0.04	0.01	16.09	2.86
40年目	R 48	0.98872	0.98539	0.99829	0.99040	0.1712	101.2	6.29	2.10	6.66	15.05	2.58	0.30	0.06	0.52	0.89	0.15	0.04	0.01	15.97	2.73
41年目	R 49	0.98859	0.98517	0.99828	0.99031	0.1646	101.2	6.22	2.07	6.65	14.93	2.46	0.30	0.06	0.52	0.88	0.14	0.04	0.01	15.85	2.61
42年目	R 50	0.98846	0.98495	0.99828	0.99021	0.1583	101.2	6.15	2.04	6.64	14.82	2.35	0.30	0.06	0.52	0.87	0.14	0.04	0.01	15.73	2.49
43年目	R 51	0.98832	0.98472	0.99828	0.99012	0.1522	101.2	6.08	2.01	6.63	14.71	2.24	0.29	0.06	0.51	0.87	0.13	0.04	0.01	15.62	2.38
44年目	R 52	0.98819	0.98448	0.99827	0.99002	0.1463	101.2	6.00	1.97	6.61	14.59	2.14	0.29	0.06	0.51	0.86	0.13	0.04	0.01	15.50	2.27
45年目	R 53	0.98805	0.98424	0.99827	0.98992	0.1407	101.2	5.93	1.94	6.60	14.48	2.04	0.29	0.06	0.51	0.86	0.12	0.04	0.01	15.38	2.16
46年目	R 54	0.98790	0.98398	0.99827	0.98981	0.1353	101.2	5.86	1.91	6.59	14.37	1.94	0.28	0.06	0.51	0.85	0.12	0.04	0.01	15.26	2.06
47年目	R 55	0.98775	0.98372	0.99826	0.98971	0.1301	101.2	5.79	1.88	6.58	14.26	1.85	0.28	0.06	0.51	0.85	0.11	0.04	0.00	15.14	1.97
48年目	R 56	0.98760	0.98345	0.99826	0.98960	0.1251	101.2	5.72	1.85	6.57	14.14	1.77	0.28	0.06	0.51	0.84	0.11	0.04	0.00	15.02	1.88
49年目	R 57	0.98744	0.98318	0.99826	0.98949	0.1203	101.2	5.65	1.82	6.56	14.03	1.69	0.27	0.06	0.51	0.84	0.10	0.04	0.00	14.90	1.79
合　計								368.82	128.86	341.39	839.07	323.76	17.83	3.92	26.51	48.27	18.44	2.33	0.91	889.66	343.11

様式-5

便益の現在価値算定表（残事業）

箇所名:　一般国道9号 笠波峠除雪拡幅

年次	年度 (基準年) R 3	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿臨海ブロック) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車	割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間便益 (億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	走行経費便益 (億円) 乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	事故減少便益 (億円) ③	現在価値 ③×(A)	合 計 (億円) 便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	R 8	0.99868	0.98416	1.00526	0.99725	0.8219	101.2	6.01	2.37	4.65	13.02	10.70	0.35	0.08	0.39	0.82	0.68	0.06	0.05	13.90	11.43
1年目	R 9	0.99868	0.98390	1.00523	0.99725	0.7903	101.2	6.00	2.33	4.67	13.00	10.28	0.35	0.08	0.39	0.83	0.65	0.06	0.04	13.88	10.97
2年目	R 10	0.99868	0.98364	1.00521	0.99724	0.7599	101.2	5.99	2.29	4.70	12.98	9.86	0.35	0.08	0.39	0.83	0.63	0.05	0.04	13.86	10.53
3年目	R 11	0.99868	0.98337	1.00518	0.99723	0.7307	101.2	5.99	2.25	4.72	12.96	9.47	0.35	0.08	0.40	0.83	0.60	0.05	0.04	13.84	10.11
4年目	R 12	0.99198	0.99042	0.99839	0.99287	0.7026	101.2	5.98	2.22	4.75	12.94	9.09	0.35	0.08	0.40	0.83	0.58	0.05	0.04	13.82	9.71
5年目	R 13	0.99191	0.99033	0.99838	0.99281	0.6756	101.2	5.93	2.20	4.74	12.86	8.69	0.34	0.08	0.40	0.82	0.56	0.05	0.04	13.74	9.28
6年目	R 14	0.99185	0.99024	0.99838	0.99276	0.6496	101.2	5.88	2.17	4.73	12.79	8.31	0.34	0.08	0.40	0.82	0.53	0.05	0.03	13.66	8.87
7年目	R 15	0.99178	0.99014	0.99838	0.99271	0.6246	101.2	5.83	2.15	4.72	12.71	7.94	0.34	0.08	0.40	0.81	0.51	0.05	0.03	13.58	8.48
8年目	R 16	0.99171	0.99004	0.99837	0.99266	0.6006	101.2	5.79	2.13	4.72	12.63	7.59	0.34	0.08	0.40	0.81	0.49	0.05	0.03	13.49	8.10
9年目	R 17	0.99164	0.98994	0.99837	0.99260	0.5775	101.2	5.74	2.11	4.71	12.56	7.25	0.33	0.08	0.40	0.80	0.46	0.05	0.03	13.41	7.75
10年目	R 18	0.99157	0.98984	0.99837	0.99255	0.5553	101.2	5.69	2.09	4.70	12.48	6.93	0.33	0.08	0.39	0.80	0.44	0.05	0.03	13.33	7.40
11年目	R 19	0.99150	0.98974	0.99837	0.99249	0.5339	101.2	5.64	2.07	4.69	12.40	6.62	0.33	0.07	0.39	0.80	0.43	0.05	0.03	13.25	7.07
12年目	R 20	0.99143	0.98963	0.99836	0.99243	0.5134	101.2	5.59	2.05	4.68	12.32	6.33	0.33	0.07	0.39	0.79	0.41	0.05	0.03	13.17	6.76
13年目	R 21	0.99135	0.98952	0.99836	0.99238	0.4936	101.2	5.55	2.03	4.68	12.25	6.05	0.32	0.07	0.39	0.79	0.39	0.05	0.03	13.09	6.46
14年目	R 22	0.99128	0.98941	0.99836	0.99232	0.4746	101.2	5.50	2.00	4.67	12.17	5.78	0.32	0.07	0.39	0.78	0.37	0.05	0.02	13.01	6.17
15年目	R 23	0.99120	0.98930	0.99836	0.99226	0.4564	101.2	5.45	1.98	4.66	12.09	5.52	0.32	0.07	0.39	0.78	0.36	0.05	0.02	12.92	5.90
16年目	R 24	0.99112	0.98918	0.99835	0.99220	0.4388	101.2	5.40	1.96	4.65	12.02	5.27	0.31	0.07	0.39	0.78	0.34	0.05	0.02	12.84	5.64
17年目	R 25	0.99104	0.98906	0.99835	0.99214	0.4220	101.2	5.35	1.94	4.65	11.94	5.04	0.31	0.07	0.39	0.77	0.33	0.05	0.02	12.76	5.39
18年目	R 26	0.99096	0.98894	0.99835	0.99207	0.4057	101.2	5.31	1.92	4.64	11.86	4.81	0.31	0.07	0.39	0.77	0.31	0.05	0.02	12.68	5.14
19年目	R 27	0.99088	0.98882	0.99835	0.99201	0.3901	101.2	5.26	1.90	4.63	11.79	4.60	0.31	0.07	0.39	0.76	0.30	0.05	0.02	12.60	4.91
20年目	R 28	0.99080	0.98869	0.99834	0.99195	0.3751	101.2	5.21	1.88	4.62	11.71	4.39	0.30	0.07	0.39	0.76	0.28	0.05	0.02	12.52	4.70
21年目	R 29	0.99071	0.98856	0.99834	0.99188	0.3607	101.2	5.16	1.86	4.62	11.63	4.20	0.30	0.07	0.39	0.75	0.27	0.05	0.02	12.44	4.49
22年目	R 30	0.99062	0.98843	0.99834	0.99182	0.3468	101.2	5.11	1.83	4.61	11.56	4.01	0.30	0.07	0.39	0.75	0.26	0.05	0.02	12.35	4.28
23年目	R 31	0.99053	0.98830	0.99833	0.99175	0.3335	101.2	5.07	1.81	4.60	11.48	3.83	0.29	0.07	0.39	0.75	0.25	0.05	0.02	12.27	4.09
24年目	R 32	0.99044	0.98816	0.99833	0.99168	0.3207	101.2	5.02	1.79	4.59	11.40	3.66	0.29	0.06	0.39	0.74	0.24	0.05	0.02	12.19	3.91
25年目	R 33	0.99035	0.98802	0.99833	0.99161	0.3083	101.2	4.97	1.77	4.58	11.33	3.49	0.29	0.06	0.39	0.74	0.23	0.05	0.01	12.11	3.73
26年目	R 34	0.99026	0.98787	0.99833	0.99154	0.2965	101.2	4.92	1.75	4.58	11.25	3.34	0.29	0.06	0.38	0.73	0.22	0.05	0.01	12.03	3.57
27年目	R 35	0.99016	0.98772	0.99832	0.99147	0.2851	101.2	4.87	1.73	4.57	11.17	3.19	0.28	0.06	0.38	0.73	0.21	0.05	0.01	11.95	3.41
28年目	R 36	0.99006	0.98757	0.99832	0.99139	0.2741	101.2	4.83	1.71	4.56	11.10	3.04	0.28	0.06	0.38	0.73	0.20	0.05	0.01	11.87	3.25
29年目	R 37	0.98996	0.98741	0.99832	0.99132	0.2636	101.2	4.78	1.69	4.55	11.02	2.90	0.28	0.06	0.38	0.72	0.19	0.04	0.01	11.78	3.11
30年目	R 38	0.98986	0.98725	0.99831	0.99124	0.2534	101.2	4.73	1.66	4.55	10.94	2.77	0.28	0.06	0.38	0.72	0.18	0.04	0.01	11.70	2.97
31年目	R 39	0.98976	0.98709	0.99831	0.99116	0.2437	101.2	4.68	1.64	4.54	10.86	2.65	0.27	0.06	0.38	0.71	0.17	0.04	0.01	11.62	2.83
32年目	R 40	0.98965	0.98692	0.99831	0.99109	0.2343	101.2	4.63	1.62	4.53	10.79	2.53	0.27	0.06	0.38	0.71	0.17	0.04	0.01	11.54	2.70
33年目	R 41	0.98954	0.98674	0.99831	0.99101	0.2253	101.2	4.59	1.60	4.52	10.71	2.41	0.27	0.06	0.38	0.70	0.16	0.04	0.01	11.46	2.58
34年目	R 42	0.98943	0.98657	0.99830	0.99092	0.2166	101.2	4.54	1.58	4.52	10.63	2.30	0.26	0.06	0.38	0.70	0.15	0.04	0.01	11.38	2.46
35年目	R 43	0.98932	0.98638	0.99830	0.99084	0.2083	101.2	4.49	1.56	4.51	10.56	2.20	0.26	0.06	0.38	0.70	0.14	0.04	0.01	11.30	2.35
36年目	R 44	0.98921	0.98620	0.99830	0.99076	0.2003	101.2	4.44	1.54	4.50	10.48	2.10	0.26	0.06	0.38	0.69	0.14	0.04	0.01	11.21	2.25
37年目	R 45	0.98909	0.98600	0.99829	0.99067	0.1926	101.2	4.39	1.52	4.49	10.40	2.00	0.26	0.05	0.38	0.69	0.13	0.04	0.01	11.13	2.14
38年目	R 46	0.98897	0.98580	0.99829	0.99058	0.1852	101.2	4.35	1.49	4.49	10.33	1.91	0.25	0.05	0.38	0.68	0.13	0.04	0.01	11.05	2.05
39年目	R 47	0.98885	0.98560	0.99829	0.99049	0.1780	101.2	4.30	1.47	4.48	10.25	1.82	0.25	0.05	0.38	0.68	0.12	0.04	0.01	10.97	1.95
40年目	R 48	0.98872	0.98539	0.99829	0.99040	0.1712	101.2	4.25	1.45	4.47	10.17	1.74	0.25	0.05	0.38	0.67	0.12	0.04	0.01	10.89	1.86
41年目	R 49	0.98859	0.98517	0.99828	0.99031	0.1646	101.2	4.20	1.43	4.46	10.10	1.66	0.24	0.05	0.37	0.67	0.11	0.04	0.01	10.81	1.78
42年目	R 50	0.98846	0.98495	0.99828	0.99021	0.1583	101.2	4.15	1.41	4.45	10.02	1.59	0.24	0.05	0.37	0.67	0.11	0.04	0.01	10.73	1.70
43年目	R 51	0.98832	0.98472	0.99828	0.99012	0.1522	101.2	4.11	1.39	4.45	9.94	1.51	0.24	0.05	0.37	0.66	0.10	0.04	0.01	10.64	1.62
44年目	R 52	0.98819	0.98448	0.99827	0.99002	0.1463	101.2	4.06	1.37	4.44	9.87	1.44	0.24	0.05	0.37	0.66	0.10	0.04	0.01	10.56	1.55
45年目	R 53	0.98805	0.98424	0.99827	0.98992	0.1407	101.2	4.01	1.35	4.43	9.79	1.38	0.23	0.05	0.37	0.65	0.09	0.04	0.01	10.48	1.47
46年目	R 54	0.98790	0.98398	0.99827	0.98981	0.1353	101.2	3.96	1.33	4.42	9.71	1.31	0.23	0.05	0.37	0.65	0.09	0.04	0.01	10.40	1.41
47年目	R 55	0.98775	0.98372	0.99826	0.98971	0.1301	101.2	3.92	1.30	4.42	9.64	1.25	0.23	0.05	0.37	0.65	0.08	0.04	0.00	10.32	1.34
48年目	R 56	0.98760	0.98345	0.99826	0.98960	0.1251	101.2	3.87	1.28	4.41	9.56	1.20	0.22	0.05	0.37	0.64	0.08	0.04	0.00	10.24	1.28
49年目	R 57	0.98744	0.98318	0.99826	0.98949	0.1203	101.2	3.82	1.26	4.40	9.48	1.14	0.22	0.05	0.37	0.64	0.08	0.04	0.00	10.16	1.22
合　計								249.30	89.23	229.11	567.65	219.09	14.50	3.20	19.24	36.95	14.14	2.33	0.91	606.92	234.14

参考資料
（事業全体）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	笠波峠除雪拡幅	2	4.6km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 （百万円）	備考
①工事費					16,445	
	改良費				7,348	
		土工	m3	176,971	1,423	切土(132,614m3)、盛土(44,357m3)、捨土(96,744m3)
		法面工	㎡	26,312	62	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	277	重力式擁壁、大型ブロック積擁壁等
		切土部補強土工	式	1	642	アンカー工、パネル、鉄筋挿入工等
		函渠工	式	1	18	2.0×2.0×63.０m
		排水工	式	1	306	街渠、側溝、管渠、集水桝等
		付帯工事	式	1	2,897	情報管路1式、仮設工など
		雑工	式	1	1,723	準備工等
	橋梁費				242	
		100m以上	m			
		100m未満	m2	367	242	L=9m、L=17.5m　PC2橋
	トンネル費				8,336	
		NATM	m	1,713	8,336	1本（上下線）
		シールド	m			
	舗装費				453	
		車道舗装	㎡	35,416	419	
		歩道舗装	㎡	5,684	21	
		その他	式	1	13	
	付帯施設費				66	
		交通管理施設工	式	1	23	標識工、防護柵工、道路照明等
		付帯工事	式	1	43	落石防護策
②用地及補償費					2,485	
	用地費		㎡	48,754	337	
		宅地	㎡	8,031	196	
		田畑	㎡	23,025	89	
		山林・原野	㎡	16,139	5	
		その他	㎡	1,559	46	墓地、宅地見込み等
	補償費		式	1	2,148	
③間接経費			式	1	3,770	業務取り扱い費及び測量試験費など
全体事業費					22,700	

参考様式2

事業全体

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	笠波峠除雪拡幅	2	4.6km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 （百万円）	備考
維持費	km	4.6	1,600	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	3,000	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			4,600	

【単価等について】

〇維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

参考資料

（残事業）

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	笠波峠除雪拡幅	2	3.1km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額（百万円）	備考
①工事費					7,582	
	改良費				1,959	
		土工	m3	50,752	641	切土(49,269m3)、盛土(2,884m3)、捨土(43,770m3)
		法面工	㎡	7,583	31	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	98	重力式擁壁、大型ブロック積擁壁等
		切土部補強土工	式	1	637	アンカー工、パネル、鉄筋挿入工等
		函渠工	式	1	3	
		排水工	式	1	147	街渠、側溝、管渠、集水桝等
		付帯工事	式	1	251	情報管路1式、仮設工など
		雑工	式	1	151	準備工等
	橋梁費					
		100m以上	m			
		100m未満	m2			
	トンネル費				5,361	
		NATM	m	1,744	5,361	
		シールド	m			
	舗装費				209	
		車道舗装	㎡	33,743	198	
		歩道舗装	㎡	1,184	11	
			㎡			
		その他	式			
	付帯施設費				53	
		交通管理施設工	式	1	19	標識工、防護柵工、道路照明等
		付帯工事	式	1	34	落石防護策
②用地及補償費					133	
	用地費		㎡	2,463	34	
		宅地	㎡	294	15	
		田畑	㎡	805	6	
		山林・原野	㎡	638	1	
		その他	㎡	726	11	墓地、宅地見込み等
	補償費		式	1	99	
③間接経費			式	1	728	業務取り扱い費及び測量試験費など
全体事業費					8,443	

参考様式2

残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道9号	笠波峠除雪拡幅	2	3.1km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 （百万円）	備考
維持費	km	3.1	1,100	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	2,400	路面補修、構造物の点検･補修等
その他	式			
維持管理費合計			3,500	

【単価等について】

〇維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

国近整企画第５７号
令和３年８月３１日

兵庫県知事　殿

近畿地方整備局長
（ 公 印 省 略 ）

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案)の作成に係る意見照会について（依頼）

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、令和3年9月22日（水）に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、令和3年9月14日（火）までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・お問い合わせ先

近畿地方整備局　企画部　企画課　事業評価係
電話　06－6942－1141
FAX　06－6942－7463

（別紙）

（再評価）

【道路事業】

事業名	「対応方針（原案）」案※	備考
一般国道9号笠波峠除雪拡幅	事業継続	

※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針（原案）を作成するためのものです。

（公印省略）
土第 1277 号
令和３年９月 14 日

近畿地方整備局長　様

兵庫県知事

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る意見照会について（回答）

令和３年８月 31 日付け国近整企画第 57 号で照会のありました標記の件につきまして、別紙のとおり回答します。

（別紙）

【道路事業】
＜一般国道９号笠波峠除雪拡幅＞

兵庫県知事の意見

一般国道 9 号は、日常生活はもとより、産業や観光など地域の活性化を支える上でも、重要な幹線道路である。
但馬地域の香美町村岡区は、国内でも有数の豪雪地帯であることから、国道 9 号の周辺道路の多くが冬季通行不能となり、地域の交通は国道 9 号に依存している状況である。
しかしながら、笠波峠は現道が急勾配でカーブがきつく、降雪時には車両の立ち往生が発生するなど、特に冬期間における安全で円滑な交通の確保が課題となっている。また、豪雪時の対策は、平成 30 年の福井豪雪などにより、重要性がますます高まっている。
令和２年にトンネル工事に着手され、地元も早期開通を期待していることから、引き続き、より一層のコスト縮減に努めつつ、香美町村岡区福岡～日影間の令和 5 年秋の開通と早期の全線事業完成を図っていただきたい。